

2026.03.03. 祈り会前メッセージ「
神が私の祈りに答えてくださると、私は驚くのか？」
使徒の働き 12 章 1 節から 17 節
JD フェラグ牧師

主よ、今夜あなたの御前に参ります。私たちは祈りの願いを差し出します。主よ、それらをあなたに掲げます。あなたに明け渡しますので、どうか、私たちの祈りに答えてくださいますように。耳を傾けてくださることを感謝します。祝福くださりありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。皆さん、今夜はいかがですか？（会衆：祝福されています！！）祝福されていますか？ 良い答え。正しい答えです。今夜、来てくださって嬉しいです。祈りのリストを入手してくださいね。まだなら、そこにありますので、入手しに来てください。オンラインの方は、週の半ばの聖書の学び、木曜礼拝の開始時間より早いのは承知していますが、早速始めます。そして、祈り会、教会体の祈り会に開く時、マック牧師にあがってもらいます。でも、祈り会へ開く前に、妻が主のもとに帰るまでの 5 ヶ月間、説教壇を離れて妻の看護をしていた際に、主が私に導いてくださったことを分かち合いたいと思います。主が導いてくださったのはなんと興味深い聖句箇所、最初はその理由がわからなかったんです。「使徒の働き 12 章 1 節から 17 節」で、本当は章全体なのです。でも今はその理由がわかります。この箇所は、最も魅力的で、驚くべき記述で、今の私たちが、当時の彼らのように神が私たちの祈りに答えてくださることにどれほど驚くかの、詳細な具体性です。時に、神が私の祈りに答えてくださる時だけでなく、神が私の祈りにどのように答えてくださるのか、あるいは神が私の祈りに答えてくださるご方法に、驚かされます。ですから、よろしければ、祈りで始めて、この時間を祝福してくださるよう、神にお願いしたいと思います。一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様、私たちは、あなたの御前で謙虚に姿勢を正し、本当に、絶望の中、あなたの御言葉によって、また御言葉を通して私たちに語りかけてくださって、私たちが祈る際に耳を傾けてくださるあなたが、かつてないほど必要です。私たちの叫びの声に耳を傾け、いと高きところから聞いてくださるからです。はい、今夜の祈りには、かなり激しい祈りのリクエストがあります。祈るよう求めておられる貴重な人々に、私たちはただ胸を痛めます。主よ、祈りに関するこの学びと、今夜の祈り会を祝福くださいますように。イエスの御名によってお願いします。アーメン。「使徒の働き 12 章」、1 節から入り、これを学び遂げます。

一 使徒 12:1 一

そのころ、ヘロデ王は、・・・

ヘロデのすべてを研究しようとした皆さん、止めてください。髪が痛みますから。痛む頭髮がまだ残っているならね。ヘロデの略歴を説明します。どのヘロデなのか、ヘロデはたくさんいました。これは、世の救い主の誕生の時に支配していたヘロデ大王の孫で、ユダヤ人の男子を皆殺しにしたあのヘロデのです。大げさではなく文字通りにこれは、どのヘロデなのか？ 彼の孫です。つまり、ヘロデ大王がおじいちゃんだった。それで、このヘロデが、

・・・教会の中のある人たちを苦しめようとして（迫害し、危害を加え、傷つけ、殺そうと）その手を伸ばし、

一 使徒 12:2 一

ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。

どのヤコブ？ ヨハネの兄弟のヤコブです。どうやって？ 剣で。なぜか？

一 使徒 12:3 一

それがユダヤ人に喜ばれたのを見て、・・・

つまり、ユダヤ人の機嫌を取りたかったから。「それでいいぞ。それなら、ヘロデよ、もう一歩進んでみたらどう？ なぜペテロも殺さないの？」じゃあ、そうしよう。なぜか？ やはり、それがユダヤ人を喜ばせると見たから。

・・・さらにペテロも捕らえにかかった。それは、種なしパンの祭りの時期であった。

一 使徒 12:4 一

ヘロデはペテロを捕らえて牢に入れ、・・・

この詳細に留意して欲しいです。

・・・四人一組の兵士四組に引き渡して監視させた。過越の祭りの後に、彼を民衆の前に引き出すつもりでいたのである。

なぜか？ それは自分が好意を得ようとしている相手ユダヤ系有権者のコーシャ（ユダヤの戒律・慣習）に反するから。聖なる日ですから。この時期は、ユダヤ人全員が過越の祭りを祝うためにエルサレムに向かう時期です。だから、彼を監禁し、警備員を配置させよう。4人も。おお、そうなんです。「使徒の働き 5

章」をご存じない？ 彼はすでに試した。いや、試したんじゃない、すでに一度脱出した。「もう二度とないだろう。彼は逃亡の危険性がある。言わば、逃げる危険性がある。」それで、最悪の犯罪者を鎖に繋ぐには、最高で、2人の監視だったとご存知でしたか？ ペテロは4人（の監視）ですよ。さあ、彼はもう逃げられない。へえ、そうですか？ はっ！！「いや、彼を殺すのだ。でも、過ぎ越しの祭りが終わるまで待つ。それがユダヤ人を非常に喜ばせるからだ。とてもとても。」

一 使徒 12:5 一

こうしてペテロは牢に閉じ込められていたが、・・・

さあ、これです。

・・・教会は彼のために、(絶え間なく)熱心な祈りを神にささげていた。

ヘロデよ、ペテロに何人監視をつけたのか？ 4人だ。じゃあ、ここに問題があると思いますね。祈り会が行われているから。その祈り会は、ペテロが解放されるようにというペテロのための祈り会です。ヤコブが殺されたことはすでに知っています。ちなみに、これは新約聖書「ヤコブの手紙」を記した、世の救い主、ヨセフとマリアの間のイエスの弟、異父兄弟のヤコブではありません。これはビッグ3のヤコブ、側近のペテロ、ヤコブ、ヨハネのヤコブです。「変貌の山」の3人。から出てきますからね。えっと、あれ、あれで話しましたね。えっと、えっと。。。「マルコの福音書5章」時間がかかりました。思い出さないよりましです。会堂司のヤイロの娘の話。イエスは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネの3人だけを連れていかれた。

(マルコ 5:37)

ヨハネの弟ヤコブです。聖霊の靈感を受け「ヨハネの福音書」を、「第一、第二、第三ヨハネの手紙」を、そして、「黙示録」と呼ぶ書を記したヨハネの。そのことも今から出てきます。おいてください。だから、これはまずい。先を読んでいる人にはこんな疑問が浮かびます。なぜ神はヤコブが殺され、ペテロが助かることを許されたのか？ それをはっきりさせたほうがいいかもしれませんね。触れてはいけない話題に対処します。それは大問題ですから。私たちには神の道も英知もわかりません。そして、わからないときは、わかっていることに向かう。あなたがわかっていることとは、これ、神の御言葉の權威に基づいて、私たちは、定められた時よりも1秒でも早く死ぬことも、1秒でも遅く死ぬこともない。私たちが生まれる日も、死ぬ日も、主の御手の中にあるからです。ヤコブはレースを終えた。彼は完走したのですよ。私はここから出る。

「よし、行け。ペテロまだ終わっていないけどね。いやわたしには、まだペテロが必要。信じようと信じまいと、わたしにはまだペテロが必要。」なので、このことについて1つか2つ知っています。神に「なぜ？」は尋ねません。「どういう意味か？」を尋ねます。私に何を知ってほしいのですか？ 私に何を見せたいのですか？ 私に何をさせたいのですか？ 私たち自身、神が知っておられることを私たちが知って、神が愛しておられるように私たちが愛するなら、神は、全く同じことをなさるとわかっているから。今、私が言ったことを、今夜、あなたが教会に持ってきたものに重ね合わせてみてください。あなたが人生で直面していること、あなたが今いる試練、直面している困難、苦難は、眠れる前提ですが、就寝時にそこにあり、朝目覚める時にもそこにある。あなたが、神が知っておられることを知っていて、神が愛されるように愛するなら、あなたもまったく同じことをし、まったく同じことが起こるのを許す。それで心は落ち着くはずですよ。私もそうです。ですから、ヤコブは死んだ。ペテロは、まだ。教会がペテロのために具体的に熱心に祈っているから。具体的な祈りが、具体的な答えをもたらずから。逆に、バクっとした祈りは、バクっとした答えをもたらずと同じ。また時に、疑問を残すこともあります。だから、彼らは具体的にペテロのために祈っていた。

一 使徒 12:6 一

ヘロデが彼を引き出そうとしていた日の前夜、ペテロは二本の鎖につながれて、二人の兵士の間で眠っていた。・・・

何？ 待って。待ってください。あなたは、兄弟ヤコブのように、朝には処刑される。それで眠っているの？ 私なら眠りません。その夜は眠れません。ペテロはなぜ眠ることができたのか？ 「ペテロは二本の鎖につながれて、二人の兵士の間で眠っていた。」

・・・戸口では番兵たちが牢を監視していた。

4人いる。通常、囚人には一人の兵士が鎖でつながれていました。いや、ペテロは違います。

「彼は逃亡のリスクがある。(使徒5)だから我々は、ペテロの両脇に2人の兵士を置き、2人ともを彼に鎖でつないでおく。」どうやってペテロは眠れるのか？ どなたか、これちょっとさせてね。一緒によく考えてください。私が誰かに鎖でつながれていたら、私は左向きで寝るのが好きなんです。でも、問題は、そっちにも誰かに鎖でつながれている。だから、左向きで寝ようが、右向きで寝ようが、仰向けでは寝られない。そうしたら無呼吸になるから。気道閉塞。ですから、その夜は、眠れない。それに、誰が寝たいと思う？ だって、私なら眠りません。お付き合ってください。私ならたぶん祈るでしょうね。質問。ペテロが寝ているのはなぜだと思いますか？ はい、わかっています。やりましたよ。白状しますと、私も同罪です。

ペテロは、睡眠障害だったようです。変貌の山で眠っている。ゲッセマネの園で眠っている。翌朝、殺されるその前夜、獄中で眠っている。睡眠障害ですよ。教えます。なぜペテロが眠っていたのかについて、より聖書的な答えがあります。「ヨハネの福音書 21 章」、あつてますように。その章の後半で、復活後、イエスがペテロを回復させられたときの記録です。3 回。あれ、指を 4 本出したね。なぜかな？ 何してるの？ 座っていなさい。おお、4 人の監視か。そういうことね。イエスがそうなると思つたように、彼は三度もイエスを否定しました。イエスは彼を 3 度回復させられました。ペテロはどこにいたのか？ 彼は、「僕はクビ。もう漁師の仕事に戻る。」そしてイエスが現れた。その記述ご存知でしょ。本当に力強い。それでペテロをこうやって回復された後、「わたしを愛していますか？ **わたしの子羊を飼いなさい。**」(ヨハネ 21 : 15)

「わたしを愛していますか？ わたしの羊を牧しなさい。」(ヨハネ 21 : 16)

「わたしを愛していますか？ わたしの羊を飼いなさい。」(ヨハネ 21 : 17)

これはその後です。これはイエスが、復活後、弟子たちに姿を表された時のことです。ヨハネがそこにいたことも、もちろん、ペテロがそこにいたこともわかっています。「ヨハネの福音書 21 章」には、イエスがヨハネに「老年まで生きる」と仰つたことが記されているからです。でもペテロに仰つたのは、年をとると、十字架刑で死ぬと。(ヨハネ 21 : 18)

ヘロデの剣ではなく。そして、それがまさにここで起こることです。私がペテロなら、寝ていたとしても、居心地が悪い。ちょっと君、そっちに移動してもらえます？ でも、もうわかっているから眠いのかもかもしれません。「イエスは仰いました。私はこの方法で死ぬのではない。じゃあ、おやすみなさい。」彼は正しい。年を取っていないし、これは磔刑ではないから。ペテロの名誉のため、彼は主のことばを信じている。わあ、なんと斬新な考え。そして、興味深いことに、私たちが信じる時、平安が生まれます。だから、ペテロは目を閉じていられるんでしょうね。両側には、鎖でつながった臭くて醜い兵士たちがいても。それで、その上、まだ 2 人いる。私は彼らは、24 時間鍛えていたと思います。体格がよく、強面、背が高く、筋肉質で、浮き出た静脈。やりすぎかな？ 皆さんに、神から与えられた想像力を働かせてほしいだけです。すると、神が私たちに見せられたいものを私に見せられたいものを見れます。私はそう見ました。さあ、今や、恐ろしいことに、戸口には殺し屋がいます。また恐ろしいことに、2 人の殺し屋と繋がれています。そして、あなたは深いレム睡眠に入っている。レム睡眠=急速眼球運動。夢を見るほど深い眠りです。通常、終わり間際まで起こりません。ここで睡眠の学びをするつもりはありませんが、このことについては 1 つ、2 つ知っています。さあ、7 節、ここからが、このユーモアで見ることを許して欲しいのですが、お付き合いくださいねばいけません。これは面白さの中の面白さです。

一 使徒 12 : 7 一

すると見よ。主の使いがそばに立ち、牢の中を光が照らした。御使いはペテロの脇腹を突いて彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい」と言った。・・・

即行で、目覚めて、起き上がりなさい。

・・・すると、鎖が彼の手から外れ落ちた。

神がそうしてくださるのが大好きです。さらに良くなります。ここがユーモアを見てしまうところで、本当に面白いんです。

一 使徒 12 : 8 一

御使いは彼に言った。「帯を締めて、履き物をはきなさい。」ペテロがそのとおりにすると、御使いはまた言った。「上着を着て、私について来なさい。」

一 使徒 12 : 9 一

そこでペテロは外に出て、御使いについて行った。・・・

9 節の残りは、ちょっと待ってくださいね。ここがユーモアを見る箇所です。彼は深い眠りの中にいる。御使いが言う。「OK、今から服を着なさい。」で服を着る。「履き物をはきなさい。」で履き物をはく。「上着を着なさい。」で上着を着る。「さあ一緒に歩きなさい。」と一緒に歩く。彼はおそらく、呆然と驚いている。実際、そう記されています。

一 使徒 12 : 9 一

そこでペテロは外に出て、御使いについて行った。彼には御使いがしていることが現実とは思えず、幻を見ているのだと思っていた。

生まれ。10 節に行く前に、それがどういうことか、おわかりでしょう？ とてもリアルな夢は、目が覚めるとこう言う。悪夢か夢かによって、することが 1 つか 2 つに分かれます。神に感謝するか、「おお、神よ、ただの悪夢でありがとうございます。」または、「おお、主よ、ただの夢だったのですね。リアルでした。」それが今のペテロ。彼はこれが現実かどうかわからない。彼は想像で、ビジョンを見ていると思っている。これは、御使いがどう彼の脇腹を突いたのかわかりません。ほらだって、これは高度に訓練された御使い。これはペテロには初めての逃亡ではない。だってきっと、詳細で語られているのが、ペテロを引っ張って、

バン！ 叩き起こした。「起きろ～！！」ペテロは、朦朧としている。私はどこ？ あなたは誰？ これは何？ 夢を見ているのか？ さあ、10 節、

— 使徒 12:10 —

彼らが、第一、第二の衛所を通り、・・・

覚えていますか？ この2人の醜く、臭い殺し屋と、鎖で繋がれています。その鎖が彼の手から外れ落ちた。この殺し屋たちに何があったのか？ 深い眠りに落とされているのだと思います。御使いがペテロを起こそうとする時、兵士たちは目を覚まさない。というのも、10 節で、彼らがどのように第一と第二の見張り所を通り抜けたのか、正確に語られていないから。でも、通り抜けた。私が言いたいのは、神がどのようになさるかはわかりません。事実、私たちは神がどのようになさるのか信じない。私は神を想像します。自身の祈りの生活での、自分のことを話します。「J.D.よ、本当に今、さあ、これを見ていなさい。」鎖が外れる。私なら言います。「でも、まだ森から抜け出したわけではありません。正面に警備員がいるから。」「いやいや、心配しないで。」彼らは見えなかったのだと思います。聖書にも、聖書以後にも、人々には見えなかったという記録はたくさんあります。一例を挙げましょう：聖書を密輸すると死刑になる国に密輸された2冊の聖書。それで、彼らは、通り過ぎただけ。やあ、君たち、おやすみ～ぐっすり眠って～僕たちはここから出ていくよ。

・・・町に通じる鉄の門まで来ると、門がひとりでに開いた。・・・

止まれ。新約聖書原語ギリシア語の「ひとりでに」という語彙を知っていますか？ これはギリシア語の「オートメタ (automate)」または「オトマトス (automatos)」で、英語の「オートマチック (勝手に)」の語源です。これはとてもクール。主の御使いが、自動開閉ゲートを設置してくれました。この門と同じように開く。リモコンを持たせてくれました。私はリモコンが大好きです。私がここに来て、予定の時間じゃなかったら、タイマーを押して使えばいい。今日のようにスタッフミーティングがあるときに、ボタンを押せばいいんです。それ大好き。門が自動で開いて、私が車で入っていく。自動です。オトマトス。

・・・彼らは外に出て、一つの通りを進んで行った。すると、(彼を責めませんよ。) すぐに御使いは彼から離れた。(ここで私の仕事は終わり。去ります。バイバイ。)

おお、すごい。ありがとう、御使いさん。ペテロは、まだ何が起きているのかわからないようです。彼はまだ何が起きているのか理解できていません。11 節でわかります。

— 使徒 12:11 —

そのとき、ペテロは我に返って言った。・・・

正気に戻った。何が起こったのか、ようやく頭の中で整理がついた。本当にそんなことがあったの？ ええ。そんなことはなかったと言って。いや、ありました。うわあ。これがハッとする瞬間です。それでペテロは言います。

・・・「今、本当のことが分かった。(どんな疑いもなく) 主が御使いを遣わして、ヘロデの手から、またユダヤの民のすべてのもくろみから、私を救い出してくださったのだ。」

— 使徒 12:12 —

それが分かったので、・・・ (熟考した結果、これについて考え) ペテロは、マルコと呼ばれているヨハネの母マリアの家に行った。・・・

マリアって誰？ ヨハネの母。どのヨハネ？ おお、ヨハネとは、ローマ名マルコ。あら、あの人知ってる～！！「マルコの福音書」のマルコです。マルコのママの家です！！ その家で祈り会を開いていた。祈りの家です。そうして、私はこれが大好きです。

・・・そこには多くの人々が集まって、・・・

下線を↑ひいてください。その必要はありませんけどね。私はひきました。

・・・そこには多くの人々が集まって、祈っていた。

満員の祈りの家でした。多くの人々が祈りを捧げていた。これがマリアの家？ マリアはたくさんいます。でも、このマリアはマルコのママです。そのマリアです。つまり、マルコがそこにいたということ。そして祈っていた。そこに集い、多くの人々と一緒に祈りを捧げていた。さて、ここから私が本当に皆さんに分かち合いたいことです。

— 使徒 12:13 —

彼 (ペテロ) が門の戸をたたくと、ロデ(薔薇) という名の召使い (少女) が応対に出て来た。

— 使徒 12:14 —

そして、ペテロの声だと分かった、・・・

告げられていないのは、彼女はペテロの顔を見ていない。ペテロの声を認識した。

・・・喜びのあまり・・・

(彼女はとても大喜びで、興奮し、大感激した。)

・・・門を開けもせず・・・

電動の門開閉、自動開閉は必要なときにどこ？ では、彼女は、その声を聞いて、ペテロのために門を開けずに何をしたのか？

・・・奥に駆け込み、ペテロが門の前に立っていることを知らせた。

さあ、特に 15 節に注目してください。

一 使徒 12:15 一

人々は彼女に「あなたは気が変になっている」と言ったが、・・・

あなたはどうかしている、理性を失っている。「気が変になっている」とは、そんな表現を耳にしたことあるでしょう。どういう意味かわかりますか？ あなたは独り言を言うようにおかしくなっている。あなたは正気を失っている。わあ。あなたがたはペテロの釈放を祈っているんじゃないかったの？ 今、ロデがあなたがたの祈りに神が応えたと言うと、彼女が正気を失い、自分を見失っていると思う。これは2つのうちの1つです。祈りの人たちからすれば、むしろ侮辱的な反応と言えるでしょう。

・・・彼女は本当だと言い張った。・・・

ここでの「言い張る」という言葉は、原文で、強調的、はっきり、しつこく、ペテロだと主張する意味が含まれます。

・・・それで彼らは（ロデ、君は可愛らしいけどね。）「それはペテロの御使いだ」と言った。

何て？ あなたは彼女に言う。彼女はどうかしていて、独り言を言うようにおかしくなっていると。ご存知、私は聴覚学習者で、外に出ると、、、あまりありませんけど、あまり外に出ないので。でも、その時はリストがあるんです。私はいつもリストを持っています。リストが大好きだから。だからリストがあって、自分のリストにある項目が身近な領域だと確認したいのです。そうするのが大好きです。だから、私がすることは、声に出して話すのです。だから、基本的には話しているし、時には祈っています。「主よ、それを見つけるのを助けてください。今回は、店舗在庫がありますように。」と。みんなが私を見ていて、私は独り言を言っている。人々は、「おお、何かに熱狂している人。あの人は、おかしくなってる。自分に話しているわ。」ええ、何が興味深いかと言うと、私がこのことを強調する理由は、ロデが、「いいえ、神は私たちの祈りに答えてくださいました。私はおかしくなっていません。」と言い張った後のこの祈りの人たちからの2つ目の侮辱です。ペテロがいる。そこにいる。「いや、それはペテロじゃなく、彼の御使いだ。」

質問。どうして彼らは、見に行かなかったのか？ だって私なら、御使いに会いたいです。よろしい。ペテロじゃない、彼の御使い。少なくとも立ち上がって、御使いを見に行くのが当然では？ 私なら見たい。あなたのお名前は？ 「まだもらってないんです。私は研修生で。」とか。まあ、ただこう。「お会いできて光栄です。どうしても会いたかったんです。」御使いは、人間の姿をとれますからね。皆さん、ご存知ですよ？ こう言われるんです。「注意なさい。気づかないうちに御使いをもてなしているかもしれないから。」私がそう言ったら、混乱した人もいますでしょう。「ああ、そんな！ほ～あの出会い、、、いや、神よ、あれが御使いではなかったと言ってください。気づきませんでした。もしそうなら、彼に深く謝罪したいです。まったく気づきませんでした。」

気づいていたら、、、ええ、そこがまさにポイントです。なので、彼らが御使いを見に行こうとせず、ロデが実際に見たのはペテロではなく御使いだと非難している理由は、初代教会では、このような守護天使を見ることは珍しいことではなかったからです。だから、彼らはそう疑った。ですから、一方、ペテロは、自動門開閉の人、御使いがいない。まだ門から入れません。「さっきの門は、オートマトス（自動）で開いたんだぞ。この門は、そうじゃない。僕は、大変なんだぞ。」それで彼はどうするのか？ 彼女はペテロの声に気づいた。顔を見たのではなく、声に。それは何を意味するのか？ ペテロは、自分のためのはずだと知っていた祈り会に入れてくれるように頼んで、話した。では、なぜそれを指摘するのか？ なぜなら、彼は願い、願い続け、求め、求め続けた。

一 使徒 12:16 一

だが、ペテロは門をたたき続けていた。・・・

まだ残りの節は読まないでください。先に読まないで。急かさないう。時間的には問題ないです。時計やデバイスを見る必要はありません。「マタイの福音書7章」でイエスが仰った、「求め、求め続けなさい」と少し似て聞こえませんか？ 一度だけ尋ねるのではなく、二度目も尋ねなければならないとしたら、疑っていることになり、それは信仰の欠如。私が信者になりたての頃、誰かがそう言いました。あなたは私を混乱させる話をした。私は、うわあ、と思いました。やっとなついに、ですから、特に新しい信者や若い信者は、早いうちから神の御言葉にしっかり根付くことが大切なのです。後になって、ありがたいことに、私はようやく学びました。原文で、イエスが仰っているのは、「求めなさい。求め続けなさい。」諦めなかったしつこいやもめのたとえ。もう求めました。「求め続けなさい。」もうノックしました。「ノックし続けなさい。」もう探し求めました。「探し求め続けなさい。」そして、それこそがペテロがしていることです。粘り強さと言

ます。言わば、しつこさ。それでどうなると思いますか？ 16 節の後半、

・・・彼らが開けると、・・・

ペテロがいた。イエスよ、私たちの祈りに答えてくださってありがとうございます。主を褒め称えます。ハレルヤ。ではなく、

・・・そこにペテロがいたので非常に驚いた。

びっくり仰天！！ あなた、ありえません。私たちは、あなたが獄屋から釈放されるよう祈っていて、獄屋にいるはずでしょ。ここで何をしているの？ 神があなたがたの祈りに応えてくださったから、はここにいて。びっくり仰天！！ サプライズ！！ 彼らはただ驚いただけではありません。驚愕し、ショックを受けた。今や、彼らが気がおかしくなった。皆さん、大丈夫？ わかりますか？ さあ、最後の節。それから最後に個人的適応でまとめます。

一 使徒 12 : 17 一

ペテロは静かにするように手で彼らを制してから、・・・

(手で[シー]と合図をして、静かに。)

・・・主がどのようにして自分を牢から救い出してくださったかを彼らに説明し「このことをヤコブと兄弟たちに知らせてください」と言った。・・・

このヤコブは、救世主の弟。異父兄弟の。

・・・そして、そこを出て、ほかの場所へ行った。

賢明な行動、慎重さ、知恵です。なぜなら、♪彼は逃亡中の男♪ごめんなさい。フラッシュバックでしたね。私にもわかりません。この歌を知っています。歌ってごめんね。ちょっと、、本当にごめんなさい。主よ、そのことをお許しくださいますか？ 頭から離れないんです。いやでも、これが同じペテロですよ。彼が逃亡したとき、主は奇跡的に、他の使徒たちとともに彼を牢から解放されました。なぜなら、彼らはイエスの名によって宣教したために投獄された。イエスの名を口にするを法律で禁止されたから。だから、彼らはその法律に従わなかったために捕らえられ、投獄された。そして御使いの登場。同一人物かどうかはわかりません。また 12 章で戻らなきゃいけないの？ でも、主の御使いが来て、奇跡的に解放されたと言われていました。それで彼らは何をするのか？ 彼らは外に出て宣べ伝え始める。最初に投獄されたのとまったく同じことをして、イエスの御名によって宣べ伝える。それから、語られているのは、さあ聞いてください。

「使徒の働き 5 章」です。ペテロが立ち上がり、、この人が好きです。彼は悪評が多いと思います。そう思いませんか？ ペテロは言います。非常に緩い言い換えです。「すみませんが、もし人間に従うために神に背くことを要求する法律を制定したら、どうなると思いますか？ はっ！！ (強調追加) 私たちは神に従います。イエスに！！すべての名にまさるこの名を (ピリピ 2 : 9)

聞いたことがありますか？ イエス！！」何が興味深いかというと、彼らはどうすればいいのかわからなかった。彼を牢に戻せば、御使いがまた彼を解放する。彼らは何が起こったか知っていたから。彼らはバカじゃない。ガマリエルという名の人がありました。彼はとても尊敬されている人で、彼らにこう言いました。

「彼らを放っておきなさい。見なさい。注視しなさい。」彼はいくつかの事例を紹介しました。そう、事例番号、何々とか。でも、なんでもなかった。「でも、もしこれが神によるものなら、どうすることもできません。」(使徒 5 : 38 参照)

だから釈放された。私はあなたに言います。今夜ここにいるか、オンラインで見ている人で、あなたはまだその門を叩いている。あなたはまだ尋ね、求めている。そして、見つけることも、開くことも、受け取ることもない。求め続けてください。求め続け、たたき続けてください。覚えておいてください。あなたが、神が知っておられることを知って、神が愛するように愛するなら、神は、あなたがするのとまったく同じことをなさい。ちなみに、これはペテロのためというより、彼らのためだと思います。ついでに言うとネタバレですが、ご興味のある人、この章の続き、ヘロデは、ええ、ええ、かなり生々しいです。なので、視聴者の判断か、読者の判断に任せます。でも、ネタバレ、彼はヘロデー族らしい海沿いの美しいリゾート地カイサリアに行きます。一緒にイスラエルに行ったことのある人、そこへ行きましたね。そして、ヘロデはこのコロシウムにいて、太陽は、銀と金でメッキされた王の鎧のちょうどいい位置に、ちょうどいいタイミングで当たり、きらきらと輝いています。そして、彼が話し始めると、人々は「これは神の声だ」と言い始める。ヘロデは、「そうだ〜！！」夕食を召し上がったのならごめんね。(吐きそう)その瞬間に、彼は生きたまま虫に食われて死んだ。(使徒 12 : 23 参照)

神が常に最終決定権です。あなたの人生には、あなたをあざけり、攻撃し、迫害し、昇進させず、悪口を言って、なんでも当てはめてください。あなたの人生をとて苦しめているヘロデがいるかもしれません。一瞬でも思わないでください。神はすべての言葉と行為を綿密に記録しておられます。そして最後に、神が最終決定権を下されます。私は自分を守らないことを学んでいます。もっといいのは、主があなたがたを守ってくださる。神はあなたの守りです。なぜなら私が試みれば、悪化させるだけ。私は愚か者にその愚かさ

応じて答える。すると私は、愚か者のようになり、彼の愚かさに答え、彼のレベルまで身を落とすようになる。そうか、私か？ お前はどうか？ そして試合開始、試合終了。私は議論には勝てるかもしれませんが、その人をキリストに導く機会を失ってしまう。

最後に1つ、教訓として、主が私の心を落ち着かせ、私の心に導いてくださったのは、まさにこのことでした。あの祈り会にいた人たち、どうやら満員だった。マリアの家は満員で、立ち見も出るほどだった。そして、ペテロが釈放されるよう、具体的に、熱心に、効果的に祈っている。そうして、神は彼らの祈りに答えられます。彼らの反応は？ 彼らはそれが信じられない。「いやいや、そんな、あなたがた、頼むわ。さあ戻って、ペテロのために祈り続けよう。」何を言っているの？ ペテロはそこにいる。神が祈りに答えてくださった。どうなっているのですか？ なんとも、ペテロが何と言ったかはわかりませんが、彼の声が聞こえたのでこんなようなことを言ったはずですよ。「あなたがた、どうなっているの？ あなたがたは、私の解放を祈ってくれているのですよ。サプライズ！ 神はあなたの祈りに答えてくださいました。解放されました。さあ、中に入れてもらえませんか？」これは、私を含め、私たち一人ひとりに、とても励みになるはずですよ。なぜかという、彼らの祈りは熱心で、効果的で、誠実で、力強いものだったでしょう。しかし、彼らの信仰、信念は、彼らの祈りに見合っていなかった。説明します。私たちは祈り、神に何かを求められますが、自分の心の奥底では、そして主は私たちの心をご存知ですが、「それはデカイ願いだね。だって、ヤコブを見てよ。だから、でも祈ろう。とにかく多くの人がいるし。だから、祈るしかないね。」でも、彼らは実際には信じていなかったし、信仰も持っていなかった。彼らは不忠実だった。それでも神はご忠実であられる。それが主が私に与えてくださったもので、私は爪の先でそれにしがみつきました。そう、私は祈っていました。「神よ、どうか妻を癒してくださいませんか？」「サプライズ！ 彼女は癒されました。それはちょっと違って、もっと具体的に言うべきでしたね。いいえ、彼女は、今、完璧で、栄光の永遠の体を持っています。でも、彼女は栄光のうちにわたしの御前にいます。もう痛みはなく、もう悲しみはなく、もう苦しみはなく、もう癌はない。わたしはあなたの祈りに答えましたが、あなたはわたしがそういう風に答えるとは思っていなかっただけです。サプライズ！ だってほら、J.D.、わたしが知っていることをあなたが知り、わたしが愛するようにあなたが愛するなら、あなたの祈りにあなたが答えるように、わたしはその祈りに答えます。」理解するのは難しいですね。ええ、わかります。しかし、神は、ご忠実です。私たちが不忠実であっても、実際、私たちが忠実でないときは特にそうです。私たちの信仰が、からし種ほどの微小であっても、それがその山を動かし、その兄弟を獄屋から、あなたを獄屋から解放することができます。(マタイ 17:20 参照) 自動ゲートを通して、外に出る。ですから教訓は、そのあと、マックに上がってもらい、教会体の祈りを捧げるのに開きます。でも、これを持たずにここから帰らないでください。私たちが信じないで祈るときでさえ、サプライズ！ それでも神は祈りに答えてくださいます。その理由は、私は、それが、、1つの理由は、いくつかありますが、特に、その1つの理由は、ほら、私たちは祈りにプライドを持ってしまいます。どうしてわかるのか？ 私がそうだから。私が祈ったから、神がこうしてくださったと。ああ、私はふさわしくない。うわあ。待って、あなたが祈ったから、わたしがしたことがあなたの手柄になるの？ それには気をつけてください。あなたが祈っているのには、細心の注意を払ってください。だから思うに、おもな理由の1つは、神が私に導いてくださったものは、何よりもまずこれ、地上の父親のように、幼い子どもたちが考えることとは裏腹に、子どもたちを驚かせたいと思っている。「サプライズがあるんだ！」「何？」

「うん、言わない。サプライズにならないからね」。私たちの天の御父である神は、それ以上だと思えます。主は時に、私たちを驚かせたいのだと思えます。「サプライズって何？」「うん、ある場所に連れていくよ。」「どこ？」「サプライズが台無しになるから、言わない。サプライズにならないからね。」そして突然、子どもたちは気づいた。「ウォーターパークに行くんだ〜！！」サプライズ！ 愛してるよ、ママ、パパ。最高のママとパパだ。「私の大好きなパパよ。」ある時、娘が私にそう言いました。私は、「待って。他にまだあるの？」そのことで、娘はなお私と一緒に楽しんでます。その答えは、意外なことかもしれませんが、神が答えるご方法、神が答えるタイミング、そして神がどう答えるかを選ばれるのは、私の忠実さではなく、主のご忠実さが前提です。悪いけど、あなたはおかしくなっている。戻りなさい。ロゼ。私たちはあなたを愛していますが、あなたは気が変になっている。しっかりしなさい。それはペテロの御使いだ。ペテロが解放されるよう祈ることに戻りなさい。それは信仰の反対と呼ばれます。イエスに出会ったあの男は、イエスから尋ねられました。「あなたは信じますか？」すると彼は、「信じますが、私の不信仰を助けてください。」

(マルコ 9:24 参照)

何度、神に祈り、懇願したことでしょう。「主よ、私は信じます。でも、私の不信仰を助けてください。あなたがどうなさるかかわからないから。あなたのご方法がわからないから。あなたがいつなさるのか、私にはわかりません。昨日ならよかったのに。でも、それは私の方法でもタイミングでもなく、それはあなたのご方法で、あなたのタイミングで、常にあなたの栄光のためであって、私の栄光のためではありません。」

私はまだまだ学び中です。そして、私が学んでいることの1つは、私には学ぶべきことがたくさんあります

が、特に、答えられた祈りという驚くべきシンプルさに関して。神が祈りに答えてくださるのに、私たちがそれに気づかないことがあります。祈ってもいないのに、神が祈りに答えてくださることがあります。それについて、少し時間を差し上げます。どうしてわかるのか？ 私はそうなったことがあります。「神よ、私は祈りもしませんでした。」時に、、、もう1つ、もう1つって言いましたっけ？ 言ってませんね。じゃあ、もう1つ。神は祈りに答えてくださるだけでなく、私たちが考えたことも、想像したことも、ましてやお願いしたことも、はるかに超えて、豊かに、祈りに答えてくださることがあります。だから、大きくお願いする。つまり、統計的な確率から言って、論理的に、ヤコブが死んだ今、ペテロは死人少なくとも鎖につながれている。それじゃあなたは、信じないんですか？ いや、そうでもないですよ。でも祈ります。そうですか。あのね、時に神は、私たちを驚かせ、衝撃を与え、驚愕させ、神の素晴らしさを驚かせる以外の理由がなければ、私たちのためだけにそのようにしてくださいます。私のためにそうしてくださいました。どうやってか、わかりません。何か、わかりません。いつか、わかりません。その方法は、わかりません。私が知ったのは、神がいつくしみ深いお方であること。あなたや私の状況がどんなに悪くても、神がいつもいつくしみ深いお方であることは変わりません。これはまだ悲嘆に暮れ、嘆き悲しんでいる男からの言葉です。3人の成人した子どもたちの悲しみに重なる深い悲しみ。彼らに、あなたの祈りを切望します。しかし、神は。神が何をされているのか、私にはわかりませんが、神は何をされているかご存知です。それだけでなく、神は私が、まったく同じ時に、まったく同じ方法で私が神がなさることと同じことをするだろうとわかっておられます。私もまったく同じことをするでしょう。そして、私が祈るとき、私の祈りが弱虫な祈りでも、弱虫な祈りってどういう意味かわかりますか？「弱虫」よりもいい言葉があったら教えてください。でも、いい表現がないので「弱虫」で。弱虫の祈りとは、、、私のことを話します。誰のことも見ません。「主よ、ペテロを牢から解放してくださいええ、、、」うわあ、あなたはただ流れ作業をしているみたい。神がそれをされると本気で信じていないでしょ？ はっ！！ 君は、びっくりするだろうね。「神よ、私の妻を癒してください。」熱心に祈り、断食し、懇願し、求め、たたき、粘り強く求め続け、「サプライズ。わたしはあなたの祈りに応えました。彼女は完璧です。わたしの御前にいます。J.D.、大事なのは、たとえできたとしても、彼女は二度と戻ってこないでしょう。」わお、ありがとうございます。あのね、それが本当なら、全くもってそうですが、そうすれば、私は主がなさったのとまったく同じことをして、妻をこの先に待ち受けているだろうものから救うでしょう。特に、私の妻であることで。彼女は長年、多くの打撃を受けてきました。女性にとっては蓄積します。神が彼女らを、恐ろしくも、素晴らしく、美しく造られました。それで、今ならわかります。わかりませんでした。でも今は、、、私がかつて盲目でした。でも、今ならわかります。わあ、主よ、ありがとうございます。あなたは彼女を助けられた。ええ、これは私が知る限り、あるいは想像しうる限り、最も深い痛みです。でも、あなたは彼女を助けってくださいました。そして、あなたは彼女のための私の祈りに答えてくださいました。ただ、私が思っていたような答え方ではなかっただけです。サプライズ。でも、それが正しい答えです。神よ、あなたは完璧な神だから、それは完璧な答えです。では、終わります。どうか、祈りながら、それはあなたの祈りの力ではなく、あなたが祈っている神の御力です。それは祈りにおける信仰ではなく、信じること、あなたが信じるお方への祈りです。こんなに大きな神がおられるのに、小さな信仰で小さな祈りをしてはいけません。神を信じ、大きな祈りをする。自分自身を準備する。ほら、私の子どもたちは私を驚かせるのが好きで、いたずらをします。彼らは止めました。なぜか？私がお返しをしたから。私はそのいたずらに応えました。そして、ババのいたずらを味わったので、「OK、もうイタズラをしない。しないよ。」だって、いいものを手に入れたんですよ。「わあ！あああ！」「サプライズ！」「もう、やめて〜」「僕にしたじゃない。お前たちが僕にしたように、お前たちにそうしているんだよ。」もし私たちが別の記述を読んでいたら、彼らが信仰を持ち、信じていたなら、彼らはびっくりしなかったでしょう。「ロデよ、ペテロが門にいるの？ ハレルヤ。やっぱり、神だ。やっぱりね！ あなたがなさると思っていました。あなたはお出来になると信じていました。そして、してくださった。主よ、ありがとうございます。わお。」私はそんな男になりたいです。私はそんな男になりたいです。

OK、マック、あがってきて、この人々を救いなさい。永遠の救いについて話してるじゃないよ。私から彼らを救いなさい。愛してるよ。(ハグ中)では、残された時間を、教会体の祈りに開きます。一緒をお願いします。

天のお父様、今夜、私たちが受けた教訓に感謝します。とてもタイムリーで、貴重でした。私たちとここで出会ってくださいますように。主よ、祈りをもってあなたのもとに来、あなたが答えてくださることを求め、あなたが答えてくださると知る信仰を私たちにお与えください。ですから、この時間をあなたにお捧げします。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7